

## 議長定例記者会見 会見録

日時：令和8年6月9日 10時30分～

場所：全員協議会室

### 1 発表事項

○令和8年度三重県議会インターンシップ実習生を募集します

### 2 質疑項目

○インターンシップ実習生の募集

○県職員採用における国籍要件の見直しについて

○みえ県民1万人アンケートについて

### 1 冒頭の挨拶

(議長) おはようございます。ただ今から6月の議長定例記者会見を始めさせていただきますと思います。本日は、議長に就任をいたしまして最初の定例記者会見となりますので、一言ご挨拶を申し上げます。この議長定例記者会見は、県民の皆さまに、議会活動について理解を深めていただくために、県政記者クラブ及び第二県政記者クラブの皆さまのご協力のもと、議会におけるさまざまな取り組みや、県政における課題などについて広く発信する大変重要な機会であると考えております。これからも引き続き、議長定例記者会見を開催してまいりたいと考えておりますので、よろしく願いを申し上げます。ここで副議長からも、一言ご挨拶を申し上げます。

(副議長) 副議長の津田でございます。1年間どうぞよろしくお願いいたします。

### 2 発表事項

○令和8年度三重県議会インターンシップ実習生を募集します

(議長) それでは、私のほうからご報告を申し上げたいと思います。本日、令和8年度三重県議会インターンシップ実習生の募集について、発表をさせていただきます。お手元に配付の発表事項1の資料をご覧ください。よろしいですか。まず、このインターンシップの目的としましては、実習生の知見を活用した客観的な視点から、議会のあり方等に対する提案・意見を受けることにより、三重県議会における監視機能の強化、政策立案および政策提言の充実等に資するということ、それと、もう一つは学生のキャリア形成の支援および地方公共団体における議会の役割に関する理解の増進を通じて、地方自治の課題に的確に対応し、地方分権の推進に資する実践的能力を有する人材を育成するというこの二つのことを目的とさせていただいております。次に、実習期間は今年の9月頃の7日間程度を予定いたしております。次に、受入対象者は、大学院で公共

政策に関連する研究を行っている学生2名以内としています。次に、実習内容につきましては、当県議会の取り組みや業務内容のガイダンス、本会議等の傍聴、議員との意見交換、そして事務局業務等を行っていただく。その中で三重県議会に対する提案を報告していただく報告会を公開で実施する予定でございます。日程は調整中で、決まり次第、ご案内をさせていただきます。次に、募集期間がありますが、本日6月9日から7月7日火曜日までとします。裏面の参加経費等については、より多くの応募と、よりよい人材を確保するために、実習生に対して提案に対する謝金を支給し、実習生の負担軽減を図ります。このインターンシップ実習は、これまでの17年間で計24人を実習生として受け入れ、これまでなかなか関わることができなかった議会で議員から生の声を聞いたことが学びに繋がったといった感想をいただいていることから、地方自治の現場を体験する貴重な機会にも繋がっているのではないかと考えています。今年も多くの方にご応募いただきたいと思います。私からは以上でございます。

### 3 質疑項目

#### ○インターンシップ実習生の募集

(記者) 幹事社です。よろしくお願ひします。発表項目のインターンシップ受入に関してなんですけど、こちら毎年発表されてると思うんですけど、実習内容や募集要項で今年から変わった点があればお願ひします。

(議長) 今回の内容につきましては、大きく変わったことはほとんどございません。昨年と同様でということになるかと思います。

(記者) 分かりました。

(事務局) 補足させていただきます。大きな趣旨は議長が申し上げたとおりですが、謝金だけ少し。これ最低賃金を基にしていますもので、少し変えております。大きいか小さいかと言ったら、小さいかもしれません。

(議長) 計算の根拠が最低賃金を基にしていますので、その年その年によって最低賃金が変わると金額が変わる、そういう意味でございます。それ以外については、趣旨それから具体的な内容については変わっておりません。

(記者) 分かりました。これまでに大学院生側から議会にあった提案・意見で、実際にこう変えた、改善したっていうのはありますか。

(議長) いろいろありまして、例えば昨年度の実習生から、SNSによる広報の拡大として、発信内容が利用者にとって分かりやすい情報提供となるよう配慮

すべきという提案をいただきまして、それに対しまして、三重県議会 Facebook で議会日程をお知らせする際に、会議の傍聴の案内も併せて行うなど、実習生の提案を基に、対応させていただいております。できるだけ試行錯誤しながら、利用される方の便宜を図っていきたいと、こんなふうにさせていただいたという経過があります。

### ○県職員採用における国籍要件の見直しについて

(記者) 発表項目に関して各社さんからあればお願いします。よろしいですか。発表項目外に関して幹事社から。県が今検討している国籍要件の復活についてお伺いしたいんですが、まだ県のほうで方針は決まっていますが、現時点での議長と副議長としてのお考えを伺いたいです。その復活に対しての賛否を。

(議長) 今、実は県議会で調査中でございます。具体的には総務地域連携交通常任委員会で、この件に関して調査をし、検討を、検討という表現がいいのかわかりませんが、調査をしております。そういう状況の中で、議会の考え方を一つにまとめていく立場にある議長および副議長にとっては、そのことについて現時点での見解を申し上げるというわけにはいかない。そういう立場におる。こんなふうに理解をしております。以上です。

(記者) 県議会の各会派からどのような意見、空気感が出ているか、そういうのはいかがですか。

(議長) それぞれの会派の中でも、会派で一本化されてるといようなことも伺っておりませんが、それぞれこの件に関してはいろいろなご意見があるかと思っております。

(記者) 発表項目外に関して、各社さんからあればお願いします。

(記者) 今の件の関連なんですけど、総務の常任委員会でどんな調査を今されているというふうにお聞きになってますか。

(議長) まだ常任委員会は始まってませんよね。そうですね。この後の常任委員会でおそらく調査をされるんだろうと思っております。

### ○みえ県民1万人アンケートについて

(記者) あと今アンケートですか、1万人アンケートもやってるわけですけど、政策企画のほうで何かそれに関して調査するとかっていうことはあるんですね。

(議長) アンケートは、基本的に総務地域連携でやっているのと、どこでしたっけ。ごめんなさい。所管が政策企画でやってますので、その集計中と聞いております。

(記者) 議会としては何か、この議会で何かされるっていうことになるんですか。政策企画の常任委員会で何か調査されたりするんでしょうか。

(議長) おそらくその辺のことについても意見が議員のほうから出てくるのではないかと思ってます。

(記者) 他はよろしいですか。では、ないようですので、ありがとうございました。

(議長) 以上でよろしいですか。どうもいろいろありがとうございました。今後ともよろしく願い申し上げます。

( 以 上 ) 10時41分 終了